

令和3年度（2021年度）学校評価報告書

令和4年（2022年）3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別養護学校長 町 田 美穂子 印

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

「一人一人の主体的な学びにつながる「個別の指導計画」に基づいた授業づくり

○教育方針「一人一人の育てたい力を確かに育む教育」

○経営方針「連携と協働による安心・安全な学校

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
○低評価項目について	・全項目の平均値は教職員 3.30 であった。「いじめ等の防止、体制整備」「教職員の業務改善」「学舎・事務との連携」等が低評価となった。	・いじめ等の防止・体制整備は、安心・安全な学校にするために特に重要な項目なので、子どもを守るためにも、情報を共有し、全校で組織的に取り組んでほしい。（学校評議員） ・全項目の平均値は 3.57 であった。「交流及び共同学習」、「教育が充実するための業務改善」、「地域の教育活動の活用」等が低評価となった。（保護者）
改善方策	・いじめ等の防止、体制整備については、児童生徒理解に基づく指導を基本に職員間で共通理解し、校内教育支援委員会をととして、全校で組織的に取り組む。 ・児童生徒に向き合う時間を確保するための業務改善（働き方改革）を推進した。職員会議の中で働き方改革に係る研修を実施して、校内の取り組みの周知・職員向けアンケートを実施し、組織としての取り組みや個人としての取り組みをまとめて評価をした。今後も全校で具体的な取り組みを検討していく。 ・共有サーバーの書き込みを活用して、学校と寄宿舎で情報共有を行っている。今後は、各学部と寄宿舎の打ち合わせ時に共有サーバーの内容確認を徹底し、迅速な対応を図ることができるようにする。また、事務との連携においても報告、連絡、相談を徹底し、サーバーや口頭での情報共有を丁寧に行う。 ・地域の教育活動の活用については、今後も地域とつながる教育活動の充実に取り組む。また、学校から学習内容の情報発信を行い、保護者や地域の皆様に教育活動への理解を深める。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、zoomを活用したオンラインでの実施や対面形式など、内容を工夫して交流及び共同学習を実施した。今後も、交流及び共同学習をととして、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶことができるよう実施内容を検討する。	
○人権尊重について	・平均評価点を下回る3.22の評価だった。引き続き、高い人権意識と児童生徒理解を基盤と	・どの児童生徒も人としての尊厳をもつことを根底に、かけがいのない存在であるとの認識を意

	した教育に教職員が協働して取り組む必要がある。	識することが求められる。とりわけ、子どもの背景にある保護者にとっては、最愛の我が子である。このことに思いを馳せるのも必要ではないかと考える。(学校評議員) ・平均評価点を下回る 3.53 の評価だった。人権尊重を基盤とした児童生徒理解に基づく指導が重要である。(保護者)
改善方策	・人権尊重に基づく教育について研修を行い、職員間の意識を高められるようにした。今後も人権尊重を基盤とした教育の推進に取り組む。 ・多様な他者と協働し、よりよく生きようとする力を育み、互いに認め合い、育ち合う教育を推進する。	
○安心・安全な学校について	・安心・安全な学校に係る項目について、8項目中3項目が平均評価点以下となり、評価点は3.35と平均値を上回った。感染症対策を含め、安心・安全な教育環境の整備に一層努める必要がある。	・新型コロナウイルス感染症の渦中ということもあり、学校生活に不安をもつ保護者もたくさんいると思うが、これからも引き続き対策、対応をお願いしたい。(学校評議員) ・安心・安全な学校に係る項目について、6項目中4項目が平均評価点以下となり、評価点は3.58と平均値を上回った。感染症対策や災害時対応における保護者との情報共有を充実し、安全な教育活動の推進に努める必要がある。(保護者)
改善方策	・保護者との情報共有を充実し、安心・安全な教育活動の推進に努める。 ・感染症対策については、次年度も高い意識をもって取り組み、教育活動の充実を図る。また、ICT等を活用した臨時休業等における学びの保障にも引き続き取り組む。	
○連携・協働について	・連携・協働に係る項目について、7項目中2項目が平均評価点以下となり、評価点は3.41と平均値を上回った。情報共有が不十分なため、業務推進が滞ってしまうことがあった。	・隙間のない十分な報告・連絡・相談等は難しいことから、自ら積極的に報・連・相を求め進めることが必要である。(学校評議員) ・連携・協働に係る項目について、7項目中4項目が平均評価点以下となり、評価点は3.56と平均値を下回った。感染症対策と学びの継続を両立や、個別の指導計画を基盤とした教育の推進を図る必要がある。(保護者)
改善方法	・校内の連携について、迅速な対応を図ることができるようICTの活用や報告、連絡、相談を徹底し、丁寧な情報共有を図る。 ・今後も地域との連携・協働による教育活動の推進に取り組む。また、学校から学習内容の情報発信を行い、保護者や地域の皆様に教育活動への理解を深める。 ・一人一人の主体的、協働的な学びを実現する教育、保護者との共通理解を基盤とした個別の指導計画に基づいた教育を進め、一人一人の育てたい力を確かに育む教育を推進する。	
公表方法	○学校評価結果を学校ホームページへの掲載。 ○保護者への令和3年度学校評価（アンケートの結果（教職員、保護者）の配付。	